

第18回ノースアジア大学文学賞

第18回ノースアジア大学文学賞は、8月18日(月)をもちまして応募締切とさせていただきます。

今年も全国各地から、沢山の作品のご応募がありました。数多くの珠玉の作品をご応募いただき、誠にありがとうございました。

今年度は11月16日(日)に、「第18回ノースアジア大学文学賞授賞式」を開催いたします。

どうぞお誘い合わせの上、お越しくださいますようお願い申し上げます。

選考内容

※※部門※※

I 高校生の部門

エッセイ(自由作品)の部

- ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券)
- ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞
…賞状と記念品(9千円相当の図書券)
- ◎学校賞…賞状と記念品

II 大学生・一般の部門

①エッセイ(自由作品)の部

②短編小説の部

- ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券)
- ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞
…賞状と記念品(9千円相当の旅行券)

※それぞれの部で優秀賞は複数選びます。

※短編小説の部は、大学生・一般の部門のみの募集となります。

※特に優れた作品を応募された高等学校には、学校賞を送ります。

◇第17回ノースアジア大学文学賞授賞式 記念写真◇



令和6年11月9日(土) 於 ノースアジア大学古田記念講堂

第18回ノースアジア大学文学賞授賞式

文学賞授賞式

開催日時 11月16日(日) 午後1時00分～2時15分(開場12時30分) 授賞式

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 講堂

◆◆文学賞選考委員&文学賞へのメッセージ◆◆



佐伯 一麦

プロフィール

現 職
小説家
仙台文学館館長

履 歴

1959年仙台市生まれ。
おもな小説に『鉄塔家族』(大佛次郎賞)、『ノルゲ』(野間文芸賞)、『還れぬ家』(毎日芸術賞)、『渡良瀬』(伊藤整文学賞)、『山海記』(芸術選奨文部科学大臣賞)、『アスベストス』、『ミチノオク』。ほかにエッセイ集『月を見あげて』、『Nさんの机で』、小川洋子氏との共著『川端康成の話をしようじゃないか』など著作多数。

私は樹木が好きで、野山を歩きながらはもちろん、街を歩けば街路樹に、電車に乗れば車窓から目を向かわせます。

さまざまな姿形をした樹々があります。すらっと伸びた形のよい樹。どっしりとした風格のある樹。幹がちよっと曲がっていたり、枝がねじれていたりする樹もそれぞれに味わいがあります。

それらの樹々を目にしていると、エッセイや短編小説も同じだよなあ、とつくづく思われます。もちろん文章が整っていて内容が面白い作品もありますが、少しぐらい文章の乱れがあっても、その人ならではの経験、観察、考察が活かされた作品は、読む楽しみを与えてくれます。

そしてまた、エッセイには、「思考を試し、表現を試みる」という意味合いもあります。書いてみることで、書く前には思ってもみなかったことが自分の裡に潜んでいることに気が付くこともあるでしょう。

選考にあたり、そんなヴィヴィッドな作品に出会えることを心待ちにしています。



塩野 米松

プロフィール

現 職
作家
聞き書き甲子園最終選考委員
ノースアジア大学客員教授

履 歴

秋田県仙北市角館町生まれ
東京理科大学理学部 卒業
法隆寺の棟梁西岡常一、小川三夫、その弟子達、3代の宮大工達の聞き書き『木のいのち木の心』をはじめ職人、森人、漁師達の聞き書き多数。
芥川賞候補4回。絵本『なつのいけ』(絵・村上康)で、日本絵本大賞受賞。

『SNSを送るように』

このパンフレットを手にしているということは、君は何か文を書いてみようと思っていっぱいやるのでは。そんな君にアドバイスできるとすれば、まず書くこと。「何を書けばいいのか?」悩んでいるなら、友だちにラインやインスタグラムを送る時を思い出して欲しい。「おもしろいもの見つけた」「すげーきれい!」「信じられない」「笑える」「泣きそう」、そんなことに当たったとき、君はスマホで写真を撮って送るだろう。その写真の出来事や風景、感激を文字で表したらいい。きっと友人は喜び、ありがとうと返事をくれるはず。君は「これは」と思うものを見つめる目を持っている。さあ、文字に。このとき気を付けることは一つ。「きれい」「すごい」「感激!」「悲しい」という言葉を使わぬことだ。

※第18回ノースアジア大学文学賞 選考委員交代のお知らせ※

選考委員につきまして、内館牧子先生が現在療養中のため、佐伯一麦先生に新たに選考委員をお願いしております。